

---

# スマッシュブラザーズで逃走中

スマッシュ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スマッシュブラザーズで逃走中

### 【Nコード】

N7875Y

### 【作者名】

スマッシュ

### 【あらすじ】

スマブラX組で逃走中するよ

## スマブラ（前書き）

さぼらないぞ〜

## スマブラ

はい、こんにちは

作者です。

マリオ「こらゝ勝手に出てくるなゝ。」

いいじゃないか出てきても

ルイーダ「まあいいじゃないの兄さん」

リンク「そうですよマリオさん」

マリオ「そうか？」

では、今から逃走中を始める

マリオ「いきなりだな」

ではやっていくぞ！

ルイーダ「早くやろゝよゝ」

だったら早くスマブラメンバーを集めてこいよ

マリオ・ルイーダ・リンク「はい」

お前らは子供か！

リ・マ・ル「はははは」

次、スマブラメンバーの話になるよ

さあ、ルールを説明するぜ！（前書き）

前回失敗してサブタイトルがスマブラになってしまいました。  
すみません。

さあ、ルールを説明するぜ！

さて、今から説明するぞ！

マリオ「はやくしろよ」

わかったわかった。

ルール

今回、逃走する場所はこのスマッシュパークいはゆるスマブラ遊園地だ。

ここで、120分間逃げてもらって逃げ切れれば144万円だ。

しかしハンターにつかまると賞金は0だ。

とあるところに電話ボックスがあるその中の電話で自首ができる。

自首が成立するとそのときの賞金が得られる。

健闘をいのる。

マリオ「さてがんばるか！」

ルイージ「ぼくも！」

リンク「私も逃げ切りたいですね」

話が長いのでパス、

パスされた全員「おい」

マスター「今からゲーム始めるから入口に集まれ！」

作者「あつ、マスター。どこに行つてたのさ？」

マスター「この遊園地を探索してた。」

作者「（のんきなやつ）まあ、いいや。さっき言われたように集まれ」

全員「わーーーーー」

次、スマブラメンバー

さあ、ルールを説明するぜ！（後書き）

つづけられるかな？

さあ、始めるよ(前書き)

マリオ「ちゃんとできるのかよ」

作者「なにか？」

マリオ「いえなにも・・・」(こわっ！)



さあ、始めるよ

マリオ「着いた。」

リンク「疲れた〜。」

カービィ「ここまでくるのたいへんだよ〜」

じゃあみんな来たな。

では、これよりゲームを始める。

ファルコ「本格的だな」

君たちの目の前にハンターが3体と鎖が39本ある

君たちはそれを引いていく

たまにいいアイテムをもらえることがある

しかし、はずれを引くとその場でハンター放出だ・・・

健闘を祈る・・・

作者「さあくじを引いて順番を決めよう」

スポ!

マリオ「わあ、1番だ。でも当たりにくいかな?」

ピカチュウ「おお39番だ。絶対に回らない!」

そして、1番はマリオだ・・・

ドンキー「マリオ!いきなりハンター引くなよ!」

マリオ「わかってるよ!よしカラーはマイカラーの赤だ!いくぞ!それ!」

ジャララララ・・・

セーフだ・・・

マリオ「やったーじゃお先」

次はルイーダ。

ワリオ「よし、逃げる準備だ!」

ルイーダ「こらー、そんなこと言うな〜」

フォックス「で、何色なんだ。まさか、コケ色じゃないよな?」

ルイーダ「いや違うよここは黒色で」

クッパ「なぜなのだ？」

ルイージ「ハンターの色だから、それ！」

マリオとルイージ以外「勝手に引くな」

セーフだ

ルイージ「やったーあれ、なんだろうこれ？」

冷凍銃2つミニ

これはハンターを30分間止めていられる。

ルイージ「じゃあね」

次は・・・

デデデ「今度はわしゾイ！」

デカイ腹のデデデだ。

デデデ「でかい腹は余計ゾイ！」

全員「さあどれを引くの？」

デデデ「金だゾイ！」

ワリオ「あー、それ俺様が引こうとしたのに！」

デデデ「そんなの速いもん勝ちゾイ！いくぞ、それ！」

ジャラララ

ガシャン

全員「わーーーーー」

デデデ「ぎゃーーーー」

ポン

デデデ確保

あと38人

時間あと119分40秒

ネス「あつデデデつかまつちゃた。」

ハンターは神出鬼没それが

逃走中

次回、みんな逃げまくろうぜ！

さあ、始めるよ（後書き）

今回、かなり長かったな。

さあ、みんな逃げようぜ！（前書き）

この日に4話も作れるなんてテスト週間なのに・・・orz

さあ、みんな逃げようぜ！

ルイーダ「冷凍中ミニ2つ持ってるから案外大丈夫かも」

ところで賞金の使い道は？

ルイーダ「僕は144万円とも全て被災地の人々へ渡してあげたいです」

われながらすごい回答だ。

ところでワリオ

ワリオ「金金」

賞金に目がくらんでいるようだ・・・

その近くにハンター・・・

ワリオ「金が増えるぜ」

ハンター「！！」

ワリオ「げっ！」

ポン

ワリオ確保

残り37人

残り時間118分

ワリオ「なんでハンターが出るんだ、それと金~~~~~」  
調子のとてるからだ

残り110分

プルルル

マリオ「メールだ！しかもミッション！」

リンク「えーと何々？」

ゼルダ「今からハンターボックスを10個置いた」

デイディー「阻止するにはハンターボックスのレバーを二人でおろさなければいけない」

ミッション

ハンター放出を阻止しろ！

エリアにハンターボックスが10個設置され95分になるとハンターが放出される。

阻止するにはレバーを二人でおろさなければいけない。

ピーチ「あれ？下にまだ続きがある」

ピット「通達これから裏切り者を受付する」

トウーン「裏切り者は1人ハンターに捕獲させると+10万もらえる」

クッパ「裏切り者は1人だ」

ドンキー「受付終了は1分後だ」

???「裏切ります・・・」

スタッフ「はい、わかりました」

その後、

ガノンドロフ「裏切るぞ！」

スタッフ「すみません裏切り者がありましたのでもう受付終了です」

ガノンドロフ「何！？」

ブルブルル

メールだ・・・

マリオ「裏切り者が現れたうそ~~~~~」

マリオ声が大きいぞ・・・

ハンター「!!!」

マリオ「あつハンターだ！」

マリオは逃げた

マリオ「角を使おう！」

ハンター「??」

うまく巻いたようだ

マリオ「ほんと危なかった」

その頃

「クツパ、スマツシュ観覧車の前にいます・・・」

クツパ「暇なのだ」

クツパ「あつハンターだ！」

どしどし

クツパは走るのが遅かったので  
ポン

クツパ確保

残り36人

残り時間108分30秒

オリマー「あつクツパさん捕まった。それに裏切り者の通報だつて  
！？」

次回、ミッションへGO！

さあ、みんな逃げようぜ！（後書き）

牢獄でトーク

クツパ「つかまったのだ」

デデデ「わしはスタートの時つかまったゾイ！」

???「おお前たち！」

ワリオ「誰だ？オメ」

???「俺か？俺はクレイジーハンドだ。ほとんどマスターの手伝いだ！」

クツパ「手伝って何だ？」

クレイジー「もし、お前たちが出てきそうだったら即倒せと言う手伝いだぜ」

デデデ「もう手伝いじゃないゾイ！」

クレイジー「そうか？じゃあマスターにそういつてくる」

また、長く書いてしまった



## ミッション入GOO（前書き）

今日のうちに6話作るぞ！

## ミッションへGO

ロボット「デハ、みつしょんへイキマシヨウ」

あいにくカタコトだ。

ロボット「アツ、はんたーぼつくすデス。シバラクカクレテヒトガ  
キタラデマシヨウ」

隠れて待つようだ

1分後違うところで

ルイージ「あつ、兄さん」

マリオ「よっ、ルイージ」

ルイージ「兄さん、ミッションいこうよ!」

マリオ「ああそうだな行こう!」

マリオとルイージは共に行動するようだ。

そして

ルイージ「あつ見つけたよ、しかも、5個も!」

マリオ「すげーなてっ、おい!作者何してるの?」

作者「こんな所に5個置いた奴のせいで働かされているんだよ!まあいいやその箱を全部運んでくれたら僕的能力で1人でもレバーを引けるようにするよ!」

マリオ「そうか手伝う時間はいくらだ?」

作者「5分くらいで終わるよ2人いるからその半分で終わるよ」

ルイージ「そうかじゃ手伝うよ!」

作者「ありがとう」

2分30秒後

ルイージ「終わったー!」

作者「じゃ1人でも引けるようにするよ、それ!」

マリオ「よし、引いてみよう、それ!」

ガチャッ

ブルルル

マルス「ハンターを5体阻止したあと5体だ！はやっ！」

アイク「？もうひとつメールがある・・・」

ソニック「今からハンターボックスのレバーを1人で引けるようになるよ。byルイージ wowそうかじゃ引くか」

ロボット「ソウデスカ！引イテミマシヨウ」

ガチャッ

2つ阻止成功残り3つ

ファルコン「よし、見つけたしかも2つ！」

ガチャッガチャッ

残り1つだ。

ピット「多分この辺に・・・あつた〜」

ガチャッ

ミッション成功

ブルルル

ピーチ「ミッション成功マリオ・ルイーダ・ソニック・ロボット・ピットがハンターボックスを阻止した。よかった〜」

その頃このスマッシュパーク（スマブラ遊園地）の園長のマスターは  
マスター「今日は何の日だ？」

スタッフ1「今日はこの遊園地ができた日です」

スタッフ2「たいへんで〜す」

マスター「なんだ？」

スタッフ2「今日こんな手紙が・・・」

マスター「何！？貸してみろ、まっまさか！？」

その手紙には

今日お前の遊園地の観覧車のゴンドラを奪う。

ブルルルル

リュカ「なっ何？」

メールだ

ゲーム&ウォッチ「エート」

ゼニガメ「ある人物から手紙が園長に届いた」

フシギソウ「内容は「遊園地の観覧車のゴンドラを奪う」どういう意味？」

リザードン「犯人は観覧車を動かし目当てのゴンドラをとるその間のゴンドラにハンターが乗っている

ひえ〜」

ポケモントレーナー「それを阻止することはできない。ええ〜〜」

プリン「逃げ切るにはアイテム屋にいったってバッチを買え」

ミッシヨン

バッチを買って自分たちを守れ！

この遊園地にあるアイテム屋に行きバッチを買う。

それを付けるとゴンドラから降りてきたハンターはその人が見えなくなるしれものだ。

それが売っている時間は残り分80分までその時間が過ぎるとどこにも逃げれなくなる。

現在残り90分

逃走者間に合うのか！？

次回、さあ早くバッチを買いに行こうぜ！

## ミッションへGO（後書き）

マリオ「そういえば裏切り者からなどの確保余りないな」  
作者「ぎくっ」

ルイージ「しかも90分で残り36人って多くない？」  
作者「ぎくっぎくっ」

ああ忘れてました。

裏切り者が誰か募集します。

それと出たい方も募集します。

1週間以内です。

速くだしてね。

バッチ買いと案外逃走者減るぜ！（前書き）

マリオ「今回逃走者かなり減るだつて!？」

スマッシュ「うんそうだよ、何か文句ある？」

ルイーダ「いいえ、なにも・・・」

すみませんネタばれだけど10人減ります！

## バッチ買いと案外逃走者減るぜ！

マリオ「そーいやバッチ買わないとな！」

スマブラのキャラクター達にメダルを2つ渡してある、このメダルは自首と買ひ物が出る物だ！

マリオ「まあ、二つあるからいいな！しかし、これを使うとはほかに無料でバッチをもらうことできないかな？」

そのとき！プルルルル・・・

マリオ「メールか！」

ルイーダ「えーと、なにになに？」

ピーチ「この遊園地の管理室の部屋の前で10個のバッチが無料で配られている・・・。へー」

通達

この遊園地を作った園長マスターが管理室でバッチを10個配っている。だからもらえるのは先着10人までだ！

リンク「確かこの辺にありましたよね？」

観覧車から降りてきたハンター「・・・・・・・・」

リンク「あつ、ハンターだ！こつそりで行こう・・・」

管理室の前

マスター「はやくこないかな？」

???「あつ、マスター！」

マスター「おつ、ルイーダじゃないか！」

ルイーダ「バッチちょうだい！」

マスター「あいよ！」

ルイーダ「ありがとう！」

???「おつ、ルイーダさんとマスターさんじゃないですか！」

ルイーダ「あつ、リンク！」

リンク「マスターバッチください！」

マスター「ほれ！」

リンク「ありがとうございます！」

その頃

???「ゼルダ、ジェットコースター前にいます・・・」

ハンター2体「!!!!!!」

ゼルダ「えーと、ここはジェットコースター前ね」

たたたたたた

ゼルダ「あっ、ハンター！」

たたたた

ゼルダ「こっちにも！」

ポンッ

ゼルダ確保（裏切り者通報）

残り35人

残り時間87分40秒

リンク「わ~~~~ん、姫~~~~あいつが通報したんだな！」

ブルルルル

ガノンドロフ「なんだ？電話か？」

がちや

リンク「おい！ガノン！姫をお前が通報したんだろ！」

ガノンドロフ「なぜ俺が！」

ガノンドロフのほうで

???「ガノンドロフ、メリーゴーランド前にいます・・・」

ハンター「！」

たたたた

ガノンドロフ「ムッ！すまんがリンク・・・いまきるぞ！」ブチッ！

リンク「きりやがった・・・」

ガノンドロフ「うお~~~~」ポンッ



ガノンドロフ確保（裏切り者通報）

残り34人

残り時間86分30秒

リンク「通報されていたのか・・・」

ピーチ「あれは、ハンター？」

ハンター「！」

たたたた

ピーチ「キャーーーーー！」

別のハンター3体「！！！」

ピーチ「えええええええ！」

ポンッ

ピーチ確保

残り33人

残り時間86分15秒

マリオ「姫が捕まったところで店に来た・・・」

ガラッ！（昔かよ！）

マリオ「バッチください・・・！」

アイク「マリオか・・・」

マリオ「アイクも来ていたのか・・・」

アイク「そらそうだ、そうでなければ強制失格だろ・・・」

マリオ「バッチください」

店員「どうぞ、1枚メダルください」

マリオ「はい」

店員「毎度！」

マリオ「じゃあな、アイク！」

アイク「がんばれよ！」

カービィ「ここ何処？」

迷ってるようだ・・・

カービィ「自首するつもりなのに・・・」

どうやら自首ボックスを探してるようだ

???「カービィ、西のクレープ屋前にいます・・・」

カービィ「そうだ！クレープ買おう！」

ハンター「!!!!!!!!!!」

カービィは見つかってしまった・・・

カービィ「おいしそう！」パクッ！ポンッ

ハンター「・・・・・・・・・・・・・・・・」（やわらかいな・・・・・・・・）

カービィ「え〜〜〜〜〜〜〜！」

カービィ確保（裏切り者通報）

残り32人

残り時間85分30秒

マリオ「カービィ捕まったのかよ！」

トウーン「あつた！店！」

なんとこの遊園地には2つの店がある。どっちにもバッチは売っている

トウーン「バッチください！」

店長「どうぞ、メダルを1枚になります」

トウーン「はい！」

店長「ありがとうございます」

管理室前

マスター「暇だ・・・」

???&???「おい！」

マスター「あつ、ネスとリュカかやるよ、バッチ」  
ネス&リュカ「ありがとう！」

???「こんなところにあつた・・・ゼーゼー」

マスター「マルスカ・・・」

マルス「バッチちょうだい・・・ゼーゼー」

マスター「ほれ・・・どうしたんだ？」

マルス「ハンターに追われたけど振り切ってきたのさ・・・ふう・・・」

ネス&リュカ「すごい！」

マルス「まあね・・・はーはー」

???「リザードン、正面ゲート前にいます・・・」

ハンター2体「!!」

リザードン「おっ、ハンター来たな！」

まあ、逃げ足がおそいので・・・ポンッ

リザードン「くそー」

リザードン確保（裏切り者通報）

残り31人

残り時間84分50秒

トレーナー「リザードン捕まった！しかも、裏切り者！」

ゼニガメ「リザードン、捕まってしまったのか」

その頃、ピカチュウは

ピカチュウ「くそー速いハンターめ！」

逃げていた・・・

いまピカチュウはハンターと同じ速さで走っている・・・いつスタミナが落ちてしまうかは時間の問題だ・・・

先に力尽きたのはピカチュウだ・・・  
ピカチュウ「スタミナ切れちゃった・・・」ポンッ

ピカチュウ確保

残り30人

ピカチュウ「捕まっちゃった・・・」

牢獄

デデデ「ピカチュウ確保ゾイ！」

全員「あー！ー！・・・」

ワリオ「でも、さっきここ走って行ったよな？それから案外時間かかってるが・・・」

ゼルダ「あつ、本当だ！」

ピーチ「頑張ったピカチュウが来たよ！」

ピカチュウ「捕まっちゃった・・・」

ガノンドロフ「でも、よく頑張ったぞ！」

全員「うんうん」

ピカチュウ「ありがとうみんな」

友情が芽生えたかな？

サムス「あつ、お店だわ！」

ガラッ！

サムス「あのー、バッチください」

店員「あいよ、バッチ、メダル1つね」

サムス「どうも・・・」

サムス「これで、ハンターに狙われないね・・・ってハンター！」

ハンター「！！！」たたたたた

サムス「キヤーーー」ポンッ

サムス確保

残り29人

ピット「あつ30人切った！」

???「ポポとナナ、観覧車前にいます・・・」

ハンター2体「!!!!」

たたたたた

ポポ「あつハンターだよ！」

ナナ「分かれましょ！ポポ！」

ハンター「!!!!」

ナナの進んだ場所に別のハンターが走ってきた

ポポの方に追いかけたハンターが

ナナ「キャーーーーー！」ポンッ

ポポ「わーーーーー！」ポンッ

ポポ、ナナ確保（二人とも裏切り者通報）

残り27人

マリオ「もう、7人も裏切り者が通報してるよ！」

ルイーダ「裏切り者、捕まったらたぶん死んだね・・・」

バッチ持つてる人

マリオ・ルイーダ・リンク・トゥーンリンク・マルス・アイク・ネス・リユカ

持っていない人

ドンキー・ディディー・ヨッシー・シーク・ピット・ロボット・メタナイト・オリマー・フォックス・ファルコ・ウルフ・ファルコン・

ポケモントレーナー・ゼニガメ・フシギソウ・プリン・ゲーム＆ウ  
オッチ・スネーク・ソニック

確保者

ピーチ・クッパ・ワリオ・ゼルダ・ガノンドロフ・サムス・ポポ・  
ナナ・カービィ・デデデ・ピカチュウ・リザードン

残り人数 27人  
残り時間 84分

バッチ買いと案外逃走者減るぜ！（後書き）

マリオ「たしかに人数がかなり減ったな・・・」

スマッシュ「でしょでしょ！」

ルイージ「でも、裏切り者通報が多い・・・」

スマッシュ「そうだったか？」

マリオ・ルイージ「そうだよ！」

もう、1週間伸ばします。裏切り者誰か当ててね。

バッチ買いにいきましょう！（前書き）

スマッシュ「今のところゲスト参加者4人」

マリオ「もう、4人来たのか！」

スマッシュ「でも、まだ出さないよミッション終わってから  
ルイーダ「やっぱりね・・・」



バッチ買いにいこうぜ！

ドンキー「早くバッチ買わないといかないぞ！」

デイディー「でも、何処にあるの？」

今いる建物の逆の位置にある・・・

ドンキー「いったんこの建物を回ってみるか！」

勘が当たった。

デイディー「あつ、マスターがいるよ！」

マスター「よつ、バッチやる」

ドンキー・デイディー「ありがとう」

マスター「ムッ！もう1人来たようだ」

???「ヨッシーだよ」

ドンキー「よつ！ヨッシー！」

ヨッシー「どう考えても駄じゃれみたいだね・・・そうだ！バッチ  
ちようだい！」

マスター「ほれ！」

ヨッシー「ありがとう！じゃあね」

トレーナー「この辺だよね・・・店・・・あつた！」

ガラッ！

???「うるせい！こつちが先に買うんだ！お前は後で買え！」

???「なんだと！？こつちお前より先に買うんだ俺は！」

トレーナー「あつ、ファルコとウルフ！」

ファルコ・ウルフ「あつ、トレーナーのレッドか」

レッド「何してるんですか？」

ファルコ「何？ってバッチをどちらが先買つかもめてるんだよ！」

レッド「そんなケンカしなくても・・・」

ファルコ「いいか！ウルフ！先に来たのは俺だから俺のものに手を出すな！」

ウルフ「なんだと！？ファルコ！このバッチは先に取ったんだ！」

レッド「まあいいや店員さんこれちょうだい！」

店員「わかった！メダル1つだぞ！」

レッド「はい！」

店員「ありがとうございます！」

レッド「じゃあね、ファルコとウルフ！」

その後

フォックス「何してるんだ？お前達・・・」

以下省略ファルコ・ウルフ「おい！」

別の店

ゼニガメ「あつた、バッチ！これちょうだい！」

店長「どうぞ！1メダルだよ」

ゼニガメ「はい！」

店長「どうもありがとうございます！」

その後

ピット・ロボット・ゲーム&ウォッチ「バッチ下さい！」

店長「あいよ1つ1メダルだよ！」

ピット・ロボット・ゲーム&ウォッチ「ハイ！」

店長「ありがとうございます！」

管理室前

マスター「おつ来た来た！2人だな丁度あるよ！」

その2人は

ファルコン「おお、サンキューマスター！」

スネーク「これで観覧車から降りてくるハンターにはきずかれない  
！」

とうとうこれでマスターからもらえるバッチはなくなった・・・

店

ソニック「早く買わないとな！」

店員「これですねどうぞ！」

ソニック「Thankありがとうとな！」

フシギソウ「あつ、ソニック！」

ソニック「フシギソウが早くバッチ買いな！」

フシギソウ「わかったよ」

店員「ありがとうございました！」

残り時間 8 1 分 ミッション 終了 まで 残り 1 分  
持っていない人

シーク・オリマー・メタナイト・プリン だけだ！

シーク「あと 1 分か 捜さないとな」

オリマー「家族のためにも ミッション クリア しなければ！」

メタナイト「なに！？ アイテム屋 がない！」

プリン「どこへ アイテム屋 へへへ」

5 9

5 8

5 7

5 6

5 5

5 4

5 3

5 2

5 1

???「あつたバッチ 下さい！」

店員「あいよ！」

4 9

4 8

4 7  
4 6  
4 5  
4 4  
4 3  
4 2  
4 1  
4 0

「???」こんなところにあつた。バッチ下さい  
「???」こつちも下さい!

残りミッション時間10秒

9  
8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1

ミッション終了

時間ストップ!

残つたのはメタナイト・・・

メタナイト「ハンターからどう逃げよう・・・」

(裏切り者は今だけメタナイトを通達できる)

「???」メタナイト、正面ゲート前にいます・・・」

全てのハンター「!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

!!!!!!!!!!!!!!」

メタナイト「なんだ!ハンターが大量に来る!逃げないとな!こつちからも来る!もう駄目か・・・」

あきらめたようだ  
ポンッ

メタナイト確保（裏切り者通報）  
残り26人  
残り時間80分

バッチ買いにいきましょう！（後書き）

スマッシュ「もう待てないから次回作者人登場させるから！」

マリオ「おいおい、登場させるのかよ・・・」

ルイーダ「いいんじゃないの？兄さん？」

## 新しい逃走者（前書き）

マリオ「8人の作者出さんだろ？」  
スマッシュ「うん」

## 新しい逃走者

ブルルルルル

メールだ・・・

マルス「えーと、通達だね『これから新しい逃走者が増える』やっ  
たー!」

アイク「『新しい逃走者の人数は8人』そうか」

シーク「『今、80分から入れたところだ』よかった全員逃走失敗  
にならなくてすむな・・・」

リンク「『新しい逃走者の名前は、しら、ryouki、竜斗、夢  
幻、ギルバード、ゆうたん、死神魔姫、

ほーき雲の作者たちだ・・・』やっとなたね」

しら「よし、頑張るぞー!」

ryouki「逃げ切りたいです!」

竜斗「僕はミッションも行くぞ!」

夢幻「移動しよう」

ギルバード「この辺ハンター出ないよな?」

ゆうたん「この辺は大丈夫かな?」

死神魔姫「やだなーハンター出そう・・・」  
ブルルルル

ほーき雲「あつ、メールだ!」

しら「えーと、わっやり始めてからいきなり難しいな」

ryouki「『今時間増加タイマーが作動した』やばい!」

竜斗「『時間増加タイマーが動いてる間も賞金が増えていく』ふー  
ん」

夢幻「『タイマーを止めるとその時間が「25分」の場合30分  
まで加算される』えっ!」

ギルバード「『健闘を祈る』か・・・行くか!」



ミッション？

時間タイマーを止める！

ある場所に時間増加タイマーが設置された

しかし、これも1秒ごと200円、賞金が増えていく  
しかし、早く止めないと時間がかなり延びてしまう！

ゆうたん「早く行こう！」

ルイージ「よし、行こう！・・・わっ、ハンターだ！でも大丈夫！  
これがある！」

ルイージは冷凍銃（小）を装着した

ルイージ「それ！」ブシューーーーー！

ハンター「！！！！」ピタッ！

ハンターが止まった。このハンターは30分後行動開始される  
ルイージ「すごいな！でも、あと1つか・・・」

プルルルルル

マリオ「なんだ！」

リンク「『ルイージが冷凍銃（小）でハンターを一時停止させた』  
へーーーー」

次回、時間増加タイマー何処かにあるぜ！

## 新しい逃走者（後書き）

スマッシュ「この小説読んでる人わかったかな？」

マリオ「何が？」

スマッシュ「この小説のサブタイトルがクレイジーが言ってること」  
ルイーダ「わかってるんじゃない？」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7875y/>

---

スマッシュブラザーズで逃走中

2011年12月1日21時45分発行